

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/06/27号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

### 不景気へ突入の恐れが広がる

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



パウエルFRB議長の議会証言で、議長はFRBの認識と実際のインフレとの大きなギャップをあることを認め、長引くロシアのウクライナ侵攻を原因とする流通やエネルギー高騰の問題などFRBの利上げではどうにもならない部分があるという見解を示しました。そしてこの急速な利上げの結果、いわゆる経済の軟着陸に失敗して不況へとつながる可能性をも言及しました。それでもFRBのインフレとの闘いは「unconditional」、つまり何物もそれを妨げることはできないという強い決意を示しました。

マーケットの不安もインフレから、その対策のために急速に利上げを繰り返すことによる、経済の落ち込みつまり今後世界経済が陥る可能性のある不況、リセッションの可能性に移りつつあります。29日に発表される第一四半期のGDPがその状況を端的に示すだけに注目されます。インフレ下の不況、すなわちスタグフレーションがコモディティの需要の落ち込みにつながるという連想から銅や原油価格の下落という形で出てきており、同じ産業用資材としてのPGMやシルバーも頭が重たい展開となり、産業用需要は少ないながらもコモディティの代表としてのゴールドにも影響を与えて、前週は狭いレンジながらもその下の方である1830ドルを割り込んで終わりました。確実に大きくなっている不況の可能性に対して、この半年間FRBが急速にシフトさせてきたそのタカ派的な金融政策を何等かの形で変えていくのかどうか、が焦点になりそうです。不況へと陥り株価の下落が続いていくと最初はキャッシュ化の動きにゴールドも売られると思いますが、その後安全資産として再び買われるのではないのでしょうか。現状の経済指標をみる限りもはや経済の不況入りはほぼ避けられないのではないのでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

## 【マーケット・トピック】

## ゴールド以外の貴金属-PGM2

## 「プラチナの特徴とその用途」

触媒としての高い活性から自動車の排気ガスの浄化触媒としての利用がプラチナ及びパラジウム、そしてロジウムというPGMの最も大きな用途です。またゴールドと同じく、塩酸と硝酸の混合液である王水以外には溶けず、つまり自然界に存在するどんなものにも反応しないので、酸化せず化学的に非常に安定しているのが大きな特色でもあります。そのため耐久性も高く、苛酷な環境でも安定した性能が発揮できるので、自動車の点火プラグ、電極、るつぼなどにも使われています。そしてもちろん、宝飾品としてのプラチナの地位は皆さんよくご存じのところだと思います。

我々日本人は昔からきんきらきんのゴールドよりもシルバーそしてプラチナといったいわゆる白物の方に魅力を感じる人種であるようです。昔から金選好が強かった中国の人々も経済が発展するほど白物の方に魅力を感じるようになり、プラチナの宝飾品需要も日本を抜いて今では世界一となっています。プラチナは比重がゴールドよりも重く、つまり密度が高く、プラチナのイメージとしてゴールドよりも高価なものというのが未だに一般的だと思います。しかしプラチナとゴールドの関係が逆転してもはや7年がたち、現在プラチナの価値はゴールドの半分です。クレジットカードのプラチナカードのステイタスがゴールドカードよりも高いのはそろそろ改めなければいけないでしょう。

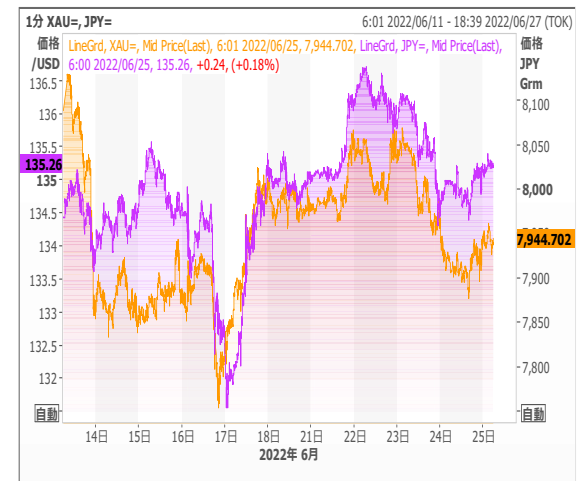
プラチナの生産量はゴールドの約20分の1であり、希少価値、そしてその実用的な工業利用価値を考えると圧倒的にプラチナの価格がゴールドよりも高くあるべきだと言えるでしょう。それにも関わらず、7年間という長い間、ゴールドの方がプラチナよりも遥かに価格が高くなり、その流れはまだまだ簡単には変わりそうにありません。なぜそうなったのか？その詳しい事情は今後解説していきたいと思っています。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

